

「国土交通省 公共事業コスト構造改革プログラム」

【 施策名： (2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【3】 管理の見直し 】

道路構造物の効率的な管理手法によるコスト削減

概要： 道路構造物の劣化予測や最適な補修工法の選定を行うことにより、道路構造物の使用期間中に必要な管理コスト（LCC：ライフサイクルコスト）を最小化する効率的な管理手法を構築

従来）状態の悪いところから手当てを行う対処療法的な管理手法

今後）中長期的視点からLCCを最小化するような管理手法

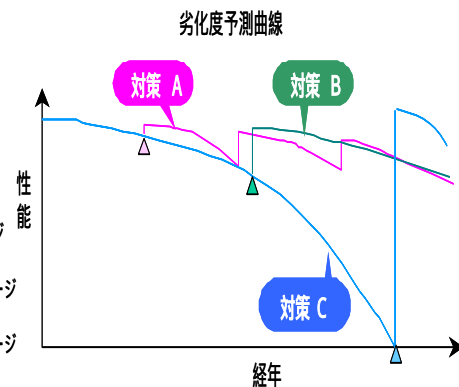
効果：

老朽化が増加する道路構造物に必要な管理コストの平準化とトータルコストの削減
道路構造物の延命化により、社会的影響の大きい大規模補修や更新の最小化
社会インフラの道路管理者として、説明責任の客観性を確保

劣化予測

■ 今後の劣化の進み方と、様々な種類の補修工事を実施した場合の性能の変化を予測する

- 対策 A：小規模補修を短サイクルで実施したイメージ
- 対策 B：性能劣化に伴い補修、改良を実施したイメージ
- 対策 C：限界性能まで補修をしないで更新するイメージ



管理計画策定

- 道路の使用期間における対象構造物の総補修費用（LCC：ライフサイクルコスト）を最小化するという視点で、もっとも相応しい工法及び補修・更新時期を選定する
- 右図の事例の場合、LCCが最小となる対策Aで管理計画を策定する

